



何かを成す勇気と意味を体験から考える 「おせっかい」ゲーム

門倉 春樹 (小学3年生：東京都)

僕は、積極的にお節介と思われる行動をどんどんするゲームを考えました。どうなるか結果を深く考えずに行います。お節介には、良い面と悪い面がありますが、やらないと、お節介が何か分かりません。

2月24日、ウクライナがロシアに攻撃されたというニュースが報道されました。僕の従兄弟がポーランドにいます。「だれか助けて」と心で願っていました。一方、世界一の核保有国のロシアに楯突いて、ウクライナを助けるのが凄く大変な事だと言うのも、何となく感じていました。どんな行動にも、悪い面と良い面があって、いい事をしようとする、悪い側面を想像してしまいます。

皆さんはどうでしょうか？

僕は、道路に捨てられているタバコのゴミやそのほかのゴミが気になるけど、拾った時、周りの目で、特に変なのとか汚いって思われそうで、出来ません。悪い側面を気にして行動できないほとんどの人は、僕と同じ行動したことの無い人なのかな？と思います。

このゲームでは、みんなが気づいたお節介を「実際に」やいて、失敗したり、嫌な思いとかをします。せっかくやったのに、思いも寄らない事を言われたり、思いもよらない結果に至ったりします。

でも、そのおかげで、街が綺麗になったり、人の命が助かったら、誰にも褒められなくても、「おせっかい」を通じて、何かを感じてもらえるゲームです。

おせっかいはきっと、余計な事や、やらなくていい事をわざわざやるという意味が含まれていますが、僕は人の目や賞賛だけではない価値を。

余計な事でも、言われてやるんじゃなくて、自分から行動して、やる事を。

悪い側面があるから辞めるのではなく、「おせっかい」の底にある自分が「良い」と信じている事を実行する為の、「何かを成す」勇気と行動力をこのゲームをする誰もが、良い事と悪い事とを鑑みて、行動出来る強くて頭の良い人になり、世界を救う人になるための最初のきっかけになればいいなと思います。